

2021年6月28日

投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」の取扱開始について ～千葉・武蔵野アライアンス提携施策～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、千葉・武蔵野アライアンス提携施策として、2021年7月1日（木）より、ちばぎん証券株式会社とともに、投資一任運用サービス「TSUBASAファンドラップ」^{注1}の取扱いを開始いたしますのでお知らせします。

本サービスでは、お客さまの資産形成・資産運用に関するご意向をもとに、一人ひとりに適した資産配分をオーダーメイドで提案いたします。具体的には、投資一任契約に基づき、ファンドラップ専用の資産運用会社（株式会社ウエルス・スクエア^{注2}）がお客さまに代わって投資判断や実際の売買等を行い、運用開始後はお客さまへの定期報告と運用見直しのご提案を行っていくことで、お客さまの資産形成・資産運用を長期に亘ってサポートしてまいります。

当行は今後も引き続き、お客さまに喜ばれる商品・サービスの提供に努めてまいります。

《サービス概要》

お客さまのご意向をもとに、全16コースから最適な運用コースをご提案致します。

名称	TSUBASAファンドラップ	
対象	個人および法人のお客さま	
投資対象	ファンドラップ専用の国内公募投資信託	
運用プログラム	マスター・プログラム	ボンドコア・プログラム
	グローバルの株式・債券・REIT等の主要資産の組み合わせ	グローバルの債券の組み合わせ
購入単位	300万円以上、1万円単位	500万円以上、1万円単位
	※増額・減額は、50万円以上1万円単位	
運用コース	5段階【保守・やや保守・中位・やや積極・積極】のリスク水準に基づく10通りの運用コース	3段階【保守・中位・積極】のリスク水準に基づく6通りの運用コース
	※オルタナティブ投資あり/なし（選択制）	

注1 TSUBASAファンドラップ

本投資一任運用サービスは、当行が参加する地方銀行の広域連携「TSUBASAアライアンス」参加行にもオープンなスキームとなっており、サービス名に「TSUBASA」を冠しております。

注2 株式会社ウエルス・スクエア

野村グループの野村アセットマネジメント株式会社と野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社、金融ITソリューションを提供する株式会社野村総合研究所の出資により2016年1月に設立されたファンドラップ専用の資産運用会社です。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
 営業統括部 預り資産推進室 齋藤
 048-641-6111（代） 内線 2581